

依知中だより

厚木市立依知中学校
発行責任者
学校長 佐藤 彩子
厚木市中依知 364
046-245-1167
学校HP携帯サイト→



生徒数	
1年	120人
2年	118人
3年	124人
全校	362人

笑顔の輪を広げよう ～みんな仲良く差別のない地域に～

校内研究担当

依知中学校では、昨年度から「一人一人を大切に人権教育の推進～共に学び共に育つことを目指すインクルーシブ教育～」というテーマで職員の研修をすすめています。インクルーシブ教育とは、神奈川県教育委員会が発行しているパンフレットには次のように書かれています。

「インクルーシブな学校」 みんなでめざそう！わたしたちの学校

- 子どもたちは、誰でも、自分の地域の学校に通うことができます。
- 学校にいるときは、誰もが安心して過ごすことができます。
- 先生たちは、チームで授業や行事を計画し、取り組み、見直しをします。
- 先生たちは、子どもたちが話すことを、よく聞いてくれます。
- 子どもたちも、先生たちも、困ったことがあれば、助けを求めることができます。
- 子どもたちは、自分と他の人との違いや、自分と違う考え方があることについて、学びます。



依知中学校区 笑顔の輪

このような学校を実現するために、

依知中学校では、

- ・互いの違いを認め合う道徳教育
- ・人権教育の推進
- ・様々な個性を持つ生徒同士が共に学ぶ授業づくりと学校生活
- ・学習しやすい教室環境

といったことを軸にして、生徒の意見も少しずつ取り入れながら、取り組みを進めています。

また、「依知中学校区」＝「依知中・依知南小・依知小学校」の学区の地域としても、学校発信で、インクルーシブ教育を推進していきたいと考えています。昨年度、これら3つの学校の児童生徒からスローガンを募集して決まったのが、この記事のタイトル「笑顔の輪を広げよう ～みんな仲良く差別のない地域に～」です。小学1年生にもわかりやすくしたい、という願いもこめたスローガンになっています。また、ロゴマークも募集し、上の「依知中学校区 笑顔の輪」が完成しました。

学校だけでなく、地域でも、いろいろな個性を持った方々が生活しています。まずは大人が意識を高めて、互いの違いを認め合い、共に学び、共に育ち、共に生活していける学校・地域をつくっていこうとしているところを、子どもたちに見せていきましょう。

交流戦2020を終えて

中体連担当

7月23日から、各運動部の3年生最後の試合となる「交流戦2020」が行われました。本来であればこの時期に総合体育大会が開催され、2年半の努力の成果を形にするはずでした。大会で結果を出すため、一つでも多く勝てるようにと練習してきた生徒の気持ちを考えると、教職員も大変辛い思いがあります。しかし、生徒たちは決して投げやりな気持ちになることなく、限られた時間の中で最後まで精一杯練習に取り組み、この交流戦を迎えました。試合当日は、どの競技の生徒たちも最後まであきらめず、ひたむきにプレーする姿が見られました。たった一日ではありますが、生徒たちにとって大切な一日になったことと思います。

部活動を行う中で最も大切なことは、「人間としていかに成長できるか」だと思います。これまで部活動を通して学んだこと、仲間や指導者との出会いは一生の財産となります。総体が中止になった辛さを乗り越えて、心が強くなった3年生を今後も見守っていただきたいと思います。



交流戦2020
男子バスケット
ボール部
試合の様子

<8月の予定>

19日(水) 2学期始業式
25日(火)・26日(水) 1学期期末テスト

<9月の予定>

9日(水)～11日(金) 三者面談
24日(木) 体育大会



夏休みの過ごし方

生徒指導担当

夏休みが8月6日から始まります。例年とは異なり、短い休みになりますが、部活動に熱中したり、また普段できないようなことに挑戦したりしてみるなど有意義に過ごしてもらいたいと思います。

しかし、生活リズムの乱れ、様々な問題行動や自転車事故や歩行中の交通事故が懸念されます。スマートフォン等によるSNSのやりとりも増え、顔が見えない中での不用意な言葉が大きなトラブル(悪口や仲間外しなどのいじめ)に発展する可能性もあるので、十分注意してください。特に今年は、屋外プール閉鎖や海水浴が禁止されていることから、川辺での事故が多発すると思われます。厚木市内は、川での遊泳は禁止されています。これらの心配されることから子どもたちを守るために、学校では終業式に配布する通知を通じてご家庭での指導を依頼すると同時に職員も部活動で生徒の様子を把握するよう努めます。目の届かない部分では、ご家庭や地域の方の力が必要になります。何とぞご協力をお願いいたします。

夏休み明けの期末テストに向けて ～学習目標、計画の効果は?～

学習指導担当

テストに向けて目標や計画を立てること(書くこと)はとても大切です。目標を目にする機会が多くなり、対策が明確なため、書かないときよりも2倍も目標が達成しやすくなるそうです。目標や理想の姿、達成を妨げること、その対策の4つを紙に書くのが良いそうです。例えば、①目標「〇〇の教科で80点以上とる」「合計〇〇点以上目指す」など目標を書き、②理想の姿「成績が伸び、〇〇高校に合格する」姿を思い描き、③達成を妨げること「部屋ではTV、ゲーム、スマホ、をやってしまう」「夜は眠くなる」を考え、④対策「スマホは親に預け、リビングで勉強する」「夕方に仮眠をとる、自分が集中できる時間帯に勉強する」など、対策(時間や場所の対策が良い)を立てるとスムーズに学習が進められます。

また、今年度からテスト直前に行ってた学習会を試験範囲表が配られた日にも行い、初めに対策が立てやすいようにしました。ぜひ、色々なことを活用し、学習に臨みましょう。